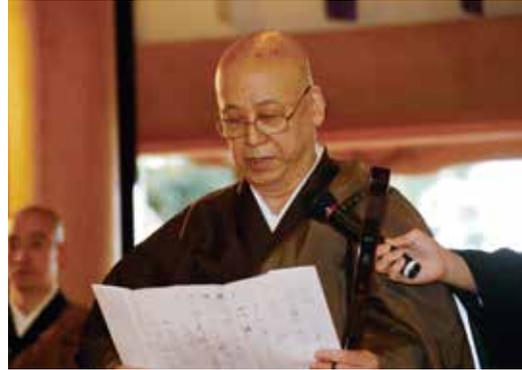


前任安本利正大和尚参回忌法要

前任・二十六世太真利正大和尚の参回忌法要を、三田・常林寺住職、林秀穎老師を導師にお迎えして、執り行いました。



法要に参列する皆様



参回忌法要の御導師、常林寺住職・林秀穎老師

檀信徒総回向

大和尚となった住職が、檀信徒各家のご先祖さまにお礼の報告をし、各家の繁栄・安寧を願って総回向の法要を執り行いました。



総回向で導師を務められる住職



焼香する参列者



境内のテント内に設けられた会場で



梶原殿でモニターを見ながら参列



式典後、挨拶する萬福寺護持会会長・河原清彦氏

ご挨拶

萬福寺二十七世 新命住職

安本由道



先般の晋山式には大勢の檀信徒の皆様を迎えられ、またお寒い中ご列席いただきまして誠に有り難く厚く御礼申し上げます。今日を迎えられたのも、皆様方のご支援とご助力の賜にほかなりません。

晋山開堂の際、「お檀家さんとの対応は如何に」とご質問を受けまして、管長のお言葉にもあります「同事行」がふと浮かんできました。共に願い、共に寄り添い、共に歩む。『修証義』のお経にも、「海の水を辞せざるは同事なり、このゆえに、よく水集まりて海となるなり」と説かれています。いかなる水も拒まない海の姿が「同事」です。すべての人や物との間に垣根を作らない和合の生き方です。師匠がよく話されていた聖徳太子の「和を以って尊しとなす」も浮かんできて、須弥壇上では答える自分に言い聞かせているようでした。

代々相承してこられたみ仏の教えに精進し、日々他を思いやり共に生きる菩薩行を実践することを心がけてまいりたいと存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。